

第 1 1 7 回総務委員会と経産省ヒアリング記録

1. 開催日時 平成 26 年 9 月 12 日 (金)
- | | | |
|-------|--------------|------------|
| 11:00 | 第 117 回総務委員会 | 鉄鋼会館 806 |
| 13:30 | 経産省ヒアリング | 経産省会議室 6 F |
| 15:30 | 業界紙記者と懇談 | 当組合会議室 |

2. 第 1 1 7 回総務委員会

出席者

大住昌弘 (理事総務委員長)
石原慶明 (理事長)
酒匂雅信 (副理事長・東京支部長)
高木唯夫 (副理事長・東海支部長)
浅野博之 (副理事長・大阪支部長)
清水 豊 (副理事長・九州支部長)
柘野 (事務局)

議 題

- (1) 委員長挨拶
- (2) 経済産業省 3 Q ヒアリング資料の検討について
- (3) 現在の組合員及び賛助会員数について
- (4) 理事の交替について
- (5) 次期通常総会の開催日時および場所について
- (6) 第 5 回全国青年交流会 (大分) について
- (7) 27 年合同新年賀詞交歓会の開催要領について
- (8) 今後の会合予定について

経 過

大住委員長の司会により議事が進められた。

(1) 委員長挨拶

大住総務委員長より、「本年 2 回目の総務委員会を開催します。本日、清水副理事長には初めて本会に出席いただいております。今後ともよろしく願いいたします。本会は 7 つの議題を用意しておりますが、最初に経産省 3 Q ヒアリング資料の内容から検討し、必要に応じ修文したいと思います。事務局から概略説明をお願いします。」(以下議題に沿って順次審議、検討を行った。)

(2) 経済産業省 3 Q ヒアリング資料の検討について

事務局より標記資料について説明、一部修正の上了承された。

(資料は別項参照)

(3) 組合員数及び賛助会員数について

平成 26 年 9 月 11 日現在の組合員及び賛助会員数は以下の通り。

- ①組合員数は、東京支部に 4 社が加入 (株) 梶哲商店、中一鋼材(株)、(株)シー・エス・

ケイ、藤原鋼材) し、全国計は 163 社となった。支部別内訳は、北海道 4、東北 5、東京 63、新潟 4、東海 34、大阪 20、神姫 7、中国 6、九州 20。
②賛助会員数は、2 社が加入 (アマダ、トルンプ) し、合計 23 社となった。

(4) 理事の交替 (案) について

去る 5 月 16 日に開催した第 39 期通常総会以降、3 名の理事 (東京支部) より理事辞任の申し出があった。これに伴い、9 月 1 日、東京支部より下記の理事候補 4 名の推薦があった。(※推薦理事 4 名の理事就任の承諾はいただいている)

定款第 35 条には、役員定数は、理事 24 名以上 27 名以下、監事 1 名又は 2 名と規定されている。現在は理事 26 名、監事 2 名である。

今回、東京支部より 4 名の理事推薦をいただいたため、理事総数は、1 名増の 27 名となる案になっている。

(注) 任期途中で役員が交替する場合は、役員定数を下回らなくても、次年度の総会開催前に臨時総会を開催し、欠員を補充するものとする。(平成 18 年 6 月 15 日開催の総務委員会で決定)

記

【辞任理事】

大川 宏之氏	芝浦シヤリング(株)会長
笹川 勝治氏	山惣熔断(株)社長
秦 弘志氏	丸東興業(株)社長

【理事候補】

大川 伸幸氏	芝浦シヤリング(株)社長
長澤 裕介氏	武部産業(株)社長
岩上 茂氏	岩上鋼材(株)社長
清水 健五氏	ワコースチール(株)社長

上記原案に基づき、種々審議の結果、異議なく了承され、本案は来る 10 月 24 日開催の第 96 回理事会の議を経て、書面による臨時総会を開催し承認を得ることとなった。

(5) 第 5 回全国青年交流会 (大分) について

事務局より、標記交流会の開催概要 (案) について、以下の通り説明があり、審議の結果、了承された。なお、開催内容は、今後、石原理事長、浅野支部長に相談しながら、各支部青年会とも連携を図り、詳細を固めることとなった。

①日時

平成 26 年 10 月 17 日 (金) 大分

- ・ 昼食 大分製鉄所内に弁当を用意 11 : 45～12 : 15
 - ・ 見学会 ①新日鉄住金・大分製鉄所 12 : 15～14 : 15
 - ②臼杵造船所 15 : 00～16 : 30
 - ・ 情勢懇談会（攻玉寮） 17 : 30～19 : 00
 - ・ 交流パーティ（攻玉寮） 19 : 00～20 : 30
- ※攻玉寮は、新日鉄住金の研修施設

平成 26 年 10 月 18 日（土）

- ・ 懇親ゴルフ会 8 : 45 スタート 湯布高原ゴルフクラブ（6 組）

②集合 大分空港に 10 : 20 集合（10 : 30 出発）、
または J R 大分駅前（北口）に 11 : 20 集合（11 : 30 出発）。

③開催要領

1) 見学会（12 : 15～16 : 30）

- ・ 大分空港または J R 大分駅前（経由）で、チャーターバスに乗車。
- ・ 昼食（大分製鉄所内に弁当を用意）（11 : 45～12 : 15）
- ・ 「新日鉄住金・大分製鉄所」を見学。（12 : 15～14 : 15）
- ・ 「臼杵造船所」を見学。（15 : 00～16 : 30）
- ・ 新日鉄住金の研修施設「攻玉寮」着（17 : 15 頃）

2) 地区情勢懇談会（攻玉寮、17 : 30～19 : 00）

司会：松丸誠吾東京支部青年会会長

- ・ 歓迎挨拶 自見修真理事（九州副支部長）
- ・ 講話 石原慶明理事長、酒匂雅信副理事長（東京支部長）
高木建組合名誉顧問（前理事長）
- ・ 地区情勢懇談会 地区情勢について地区委員より報告（1 地区 3～5 分）
- ・ 後評 鉄鋼新聞社・太田一郎記者
- ・ 閉会の辞 東京支部（松本社長）
- ・ 記念撮影 事務局

3) 交流パーティ（攻玉寮、19 : 00～20 : 30）

司会：原大介東京支部青年会副会長

- ・ 開会挨拶 浅野博之副理事長（大阪支部長）
- ・ 来賓挨拶 関野孝志新日鉄住金大分製鉄所工程管理部長
- ・ 乾杯音頭 加藤純也東海支部青年会会長
— 歓談 —
- ・ 地区代表挨拶（各地区からトピックス・関心事等を中心に挨拶）
- ・ 中締め 阿部大祐北海道支部青年会会長

4) 懇親ゴルフ会

- ①ゴルフ場 湯布高原ゴルフクラブ（6 組予約）

〒879-5114 大分県由布市湯布院町川北 899 番地 1

TEL : 0977-85-5109 FAX : 0977-84-4107

- ②スタート 8:45 IN/OUT同時スタート
- ③費用 12,500 円 (昼食付)。セルフプレー。各自精算して下さい。
- ④懇親・表彰式 コンペルーム予約済。
- ⑤日程表
 - 7:00 攻玉寮で、朝食
 - 7:15 攻玉寮発
 - 7:30 大分市内ピックアップ (大分オアシスタワーホテル他)
 - 8:30 湯布高原ゴルフクラブ着
 - 8:45 スタート (OUT/IN同時)
 - 16:00 解散
 - 16:30 大分空港向け出発 (湯布院温泉経由)
 - 17:30 大分空港着

(6) 次期通常総会の開催日時および場所について

次期総会の開催日時・場所について、種々審議した結果、利便性・費用・東日本開催・未開催県等を考慮して、大要下記の通り内定した。「那須」開催を前提に、諸準備を進め、10月理事会に諮ることとなった。

記

- ①日時：平成27年22日(金) 16:00~17:00 通常総会
- 〃 18:00~20:00 懇親会
- 23日(土) 未定 懇親ゴルフ会

- ②場所：「那須りんどう湖ロイヤルホテル」

〒325-0302 栃木県那須郡那須町高久丙4449-2

(7) 27年合同新年賀詞交歓会の開催要領(案)について

事務局より、標記新年賀詞交歓会の開催要領(案)に関し、下記の通り説明が行われ、了承された。

①共催団体

平成14年1月より鉄鋼流通6団体の合同開催となり、来年で14回目。

- ・全国厚板シェアリング工業組合 ・全国厚板シェアリング工業組合東京支部
- ・全国コイルセンター工業組合 ・関東コイルセンター工業会
- ・全国鉄鋼販売業連合会 ・東京鉄鋼販売業連合会

②幹事団体

幹事は3団体輪番制で担当しているが、27年は全国厚板シェアリング工業組合。
28年は全国コイルセンター工業組合。

③会 場

平成 22 年から、「ロイヤルパークホテル」3 F にて開催。

④進行スケジュール

16:00 受付準備開始

16:30 役員 6 名（石原、酒匂、鈴木、西山、阪上、齊藤各氏）は会場に集合。

16:40 **開場**。石原理事長を先頭に整列し、入場口で立礼にてお客様をお迎えする。立礼の時間は 15 分。

16:55 役員全員、舞台方向へ移動。

17:00 **開宴**

司会：大住昌弘・全国厚板シェアリング工業組合

理事・総務委員長

・石原慶明・全国厚板シェアリング工業組合理事長挨拶

・山下隆也・鉄鋼課長挨拶

・樋口眞哉・鉄鋼産業懇談会会長挨拶

18:30 **中締め**

・酒匂雅信・全国厚板シェアリング工業組合東京支部長

⑤参加予定者数

・約 650 名を予定。うちシャー組合員は 150 名。（全体の 23%）

(8) 今後の会合予定について

本誌 1 ページに掲載の「会議・会合予定表」をご参照ください。

3. 26 年度 3Q 経済産業省ヒアリング

出席者

経済産業省

山下鉄鋼課長、成瀬課長補佐他

厚板シェア工組

石原理事長、酒匂東京支部長、高木東海支部長、浅野村大阪支部長、

清水九州支部長

大住理事総務委員長、

柘野（事務局）

経過

懇談に先立ち、本会に初出席の清水九州支部長より挨拶が行われた。

引続き、石原理事長より、「足元の需要環境は、製造業全般及び建設関連とも総じて底堅く、切断量も期を追って漸増している。シャー在庫も調整局面にあり、年末に向けて需給は改善に向かうと見込まれる。需給を示す在庫率も、年末時点で、適

正とされる「2か月以下の水準」に接近すると想定している。こうした需要好転の中、受注内容が多様化している。手間のかかる2次加工ニーズの漸増に加え、急な発注変更や即納への対応が求められるケースが増えている。「顧客満足度の向上」が基本であるが、それを全うした際には、正当な見合いとして、『適正加工賃の確保』を個々社で理解してもらい姿勢が重要である。需要環境に恵まれている時期にこそ、繁忙な割に生産性が上がらず、労多くして益少なしの状況を個々の自助努力で脱する必要性が今まさに求められている。組合活動の中で、そのための環境整備と側面支援を行っていく所存である。行政当局におかれては当業界の実状をご理解いただき、建設業界全般に横たわる永年の商慣習の改善に向け、今後とも一層のご指導ならびにご支援をお願いしたい。」との挨拶・要望が行われた。

続いて、各支部長から地区情勢報告が行われた後、鉄鋼課より、「在庫の適正レベルは150～200%程度のようなのだが、その根拠は」、「仕事量は増加しているようなのだが、それに対応できないとすれば、今後の能力増強策は何か」、「設計能力不足など色々なネックが顕在化しているようなのだが、実態はいかん」、「物流基地や倉庫の建設はこれからも続くのか」、等の質問が出され、種々意見が交換が行われた。

以上